

三沢市地域公共交通会議 会議録

会議名称	平成24年度第1回会議					
開催日時	平成24年5月24日(木) 10時00分～12時00分					
場 所	三沢市役所 本館4階 大会議室					
出席者	会 長	小渡章好	副会長	富田 哲	委 員	宮崎倫子
	委 員	根岸 勲	委 員	中野米子	委 員	田中和男
	委 員	鹿糠達朗	委 員	小笠原和彦	随 行	佐藤美仁
	委 員	畠山一男(代理)	委 員	向中野 貢	委 員	中野渡 進
	委 員	中西敬悦	委 員	米田光一郎	オブザーバー	横道 彰
	オブザーバー	小林 恵(代理)	アドバイザー	吉田 樹	オブザーバー	浦田浩彰
	事務局	政策調整課：山本課長、堀課長補佐、横田係長、樋口主事 千代田コンサルタント：松浦、川崎				
欠席者	委 員	種市博幸	委 員	豊島 修	オブザーバー	山谷良文
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 開 会 委嘱状交付 市長挨拶 委員自己紹介 役員選出 議 事 <ul style="list-style-type: none"> (議案第1号) 平成24年度三沢市地域公共交通会議事業計画(案) (議案第2号) 平成24年度三沢市地域公共交通会議予算(案) (報告第1号) 三沢市コミュニティバス第3期実証運行実績について (報告第2号) 十和田・三沢間生活交通ネットワーク計画策定調査結果について 閉 会 					
会議の経過及び審議結果(概要)						
<ol style="list-style-type: none"> 開 会 委嘱状交付 種市市長から各委員へ交付する。 市長挨拶 種市市長挨拶 委員自己紹介 出席委員全員が自己紹介する。 役員選出 会長には委員の互選により昨年度に引き続き小渡委員、副会長には小渡会長の指名により富田委員、監事には委員の互選により宮崎委員と中野委員がそれぞれ選出された。 議 事 (議案第1号) 平成24年度三沢市地域公共交通会議事業計画(案) 原案通り全会一致で了承された。 (議案第2号) 平成24年度三沢市地域公共交通会議予算(案) 原案通り全会一致で了承された。 						

(報告第1号) 三沢市コミュニティバス第3期実証運行実績について

事務局からの報告に対して全会一致で了承された。

(報告第2号) 十和田・三沢間生活交通ネットワーク計画策定調査結果について

事務局、十和田観光電鉄株式会社から、十和田・三沢間生活交通ネットワーク計画策定調査結果について説明し、意見・質問後、全会一致で了承された。

<主な意見>

(吉田アドバイザー)

鉄道輸送実績について、各駅の乗車人員は、改札口でカウントした数のことか。

(小笠原委員)

はい。

(吉田アドバイザー)

実証実験事業調査について、属性別利用者数の「その他」とは。

(小笠原委員)

一般客なのか鉄道愛好家なのか、調査員が判断するのが難しかったものだと思う。

(吉田アドバイザー)

バス輸送実績が鉄道実績の八掛けになっている。これは、高校生をはじめとした「便利だから利用したいと思う」と「移動手段がこれ以外にない」を足した数字とほぼ一致する。この方たちを確保できたという意味では評価できると思う。ただ、「移動手段がこれ以外にない」という利用者を失わないためにも、改善要望に答えていく必要があると思う。鉄道からバスへ移行したことにより、中学生の進路決定に影響が出てくると思う。中学生に向けて、バスをPRしていく必要がある。

(中西委員)

調査事業は、3月に行われたので、高校3年生の声を聞くことができなかった。今後、受験を抱えている高校3年生の声を聞く必要もあると思う。

(事務局)

随時、十鉄では、生徒の声を反映させるための作業が行われている。

(小笠原委員)

バスは、鉄道よりも小刻みに運行している。学校も含め、いろいろな意見をいただいた中で本数を増やしている。「バスが定時で走らない」という意見が見受けられた。現在は、ほぼ定時で運行しているが、冬場は交通事情により遅れが生じる可能性がある。実際、調査実施中は、雪のため遅れが生じた。道路管理者と相談し、除雪対策等を考えていかなければならない。

(吉田アドバイザー)

三沢、十和田、六戸、PTAなどの意見に答えられるかどうかを、この地域公共交通会議の場で議論していく、そういう体制を整えていくことが重要だと思う。三沢の公共交通会議以外でも、域内路線だけでなく域外路線についても議論していく必要がある。

7 閉会

以上